

公立高校入試について

公立高校の入試では、学習指導要領に則った標準的な問題が出題されます。学校の授業で勉強する内容から大きく外れた問題は出せないことになっているからです。また、入試制度の変更等がないかぎり、出題の傾向や難易度も毎年ほぼ同じになるように設定されます。



ポイントと活用法

POINT 1 出題傾向を把握しよう

東京学参の過去問には、**年度別出題内容の分析表**が掲載されています。過去10年分を表にまとめているので、**出題傾向**が一目でわかります。

POINT 2 時間を測って繰り返し演習しよう

東京学参の過去問に**実戦対応仕様**で収録している解答用紙はホームページからダウンロードできます（一部を除く）。QRコードからアクセスし、簡単にダウンロードできるので、繰り返しの演習にも適しています。

POINT 3 苦手分野や不足知識を把握し強化しよう

作文問題などの解答が公表されていない問題に対しても**解答例**を作成しています。また、英語の長文の全訳やリスニング台本の和訳も掲載しています。

また、一部タイトルでは以下のサービスに対応しています。これらを活用することでより深く入試対策をすることができます。

famima
PRINT

- 入試本番とほぼ同じサイズの解答用紙を、全国のファミリーマートに設置しているマルチコピー機のファミマプリントで購入いただけます。
※一部の店舗で取り扱いがない場合がございます。詳細はファミマプリント(<https://fp.famima.com/>)をご確認ください。



国立・私立高校入試について

同等レベルの学校でも、入試傾向は様々です。また、入試問題には各学校の特色があります。

そして、難関私立高校や国立大学附属高校では、一般の公立高校入試に比べ非常に難しい問題が出題されることがあります。



ポイントと活用法

POINT 1 学校ごとの入試の特色や到達すべきレベルを知ろう

東京学参の過去問には**年度別出題内容の分析表**や合格最低点が掲載されています。これらを活用することで、学校ごとの入試の特色や到達すべきレベルがわかります。

POINT 2 問題を分析しよう

東京学参の過去問には**出題傾向と対策**が掲載されています。また、解説には「基本・重要・やや難」の分類マークがついています。これらを活用すれば問題分析もスムーズです。

POINT 3 基礎・基本を固めたら、苦手な分野を強化しよう

東京学参の過去問には**特集ページ「合否を分けた問題の徹底分析」**が掲載されています。また、一部タイトルでは以下のサービスに対応しています。これらを活用することでより深く入試対策をすることができます。

PREMIUM
SERIES

プレミアムシリーズ — 「合否を分けた問題」を過去3年間分まで収録。また、数学の解説最大過去3年分の+αをダウンロードして使うことができます。

